

# 上今井遊水地圍繞堤工事 進捗状況

(株) 植木組

圍繞堤本体工の護岸矢板の施工を4月15日より開始しました。鋼矢板の打ち込みには、バイプロハンマーという機械をクレーンで吊り下げ、振動力を鋼矢板に加え、地中に貫入させます。

表紙の市道大俣線切り回し道路も引き続き施工を行っていきます。安全第一で作業を進めていきますので、ご協力お願いいたします。

バイプロハンマー

クローラクレーン  
50t吊



# 上今井遊水地排水樋門工事 進捗状況

北野建設(株)

現在、堤防の下に埋まる樋門本体部分の構造物工事を行っています。4月22日には、樋門本体で一番多いコンクリートの打設を完了しました。(左下写真参照)引き続き、安全第一で工事を進めていきます。



4/22 樋門本体の底部分のコンクリート打設完了しました。

樋門本体の壁と天井部分を施工するための足場を施工中です。

## お問合せ先

- 事業全般に関すること 千曲川緊急治水対策出張所 電話 0269-67-0450
- 用地補償に関すること 千曲川河川事務所 用地第一課 電話 026-227-7613
- 工事に関すること 中野出張所 建設監督官 電話 0269-22-2729



# 回覧

令和6年5月号(No.21)  
国土交通省北陸地方整備局  
千曲川河川事務所

## お知らせ

## 市道大俣線の切り返し

(株) 植木組

# 市道大俣線仮廻し道路が6月3日(月)より開通予定

3月より施工しております市道大俣線切廻し道路は6月3日(月)開通予定で工事を進めております。開通後は一部工事用道路と並走する区間がありますので、一般車両については舗装道路の通行をお願いいたします。市道部は区画明示として外側線を施工します。(下記標準断面図参照)

開通に伴い市道の通行ルートがわかるよう看板を設置し明示します。(下記看板イメージ参照)

看板イメージ

- ・工事用道路(敷鉄板)と並走区間になります。
- ・一般車両は舗装道路の通行をお願いします。
- ・通行ルートがわかるよう看板を設置し明示します。

中野市安源寺の小内八幡神社に所在する石碑「千曲川治水記」には、明治時代に千曲川治水に尽力した今井村の先人たちの功績が記されています。

ここでは以下に、石碑原文を要約した内容を掲載し、当時を振り返ります。



【千曲川の概要と洪水被害の歴史】

千曲川は長野県佐久郡の金峯山に源を発し、小県郡、更科郡、埴科郡を北流し、屋代村、牛島村、大豆島村を経て犀川と合流します。その後、高井郡と水内郡の境界を流れ、立鼻の峡谷を経て今井村の南東で折れ曲がり、最終的に信濃川に合流します。この千曲川流域の総延長は約60-70里(240-280km)にもおよび、沿道の溪流はすべて千曲川に集まっています。

そのため毎年春秋には、立鼻の峡谷と今井村の地形的な障害により、洪水が頻発し、高井郡と水内郡の60余村が水害に見舞われてきました。特に小沼村は地勢が低く、屋根まで水が及ぶこともありました。1867年(慶応3年)の地震では、犀川が土砂で堰き止められ、19日間も通水できない状況が続きました。また通水後も砂石が堆積し、水害が以前より深刻化していました。

【新しい流路の開削に対する取り組み】

1868年(明治元年)の6月頃、長雨が数週間続き、洪水が氾濫して村人たちが生活に困窮していたところ、今井村の堤防が決壊し、水が一気に流れ出ました。

そこで、被害に遭った村人たちは、川の新たな流路を開削すれば水害を免れられると考え、松代藩の役人に訴えて官に申し立てました。官から派遣された土木権少佑の松原斐君らが調査にあたり、掘削の方法を詳細に計画していきました。

当初は、自分たちの耕地が水底になってしまうことなどに対する地元住民の反対もありましたが、官吏の粘り強い説得により、最終的に村人たちの同意を得て、ついに1870年(明治3年)から工事が始まりました。

【新流路の完成・効果と後世への教訓】

1年以上の歳月をかけて、新しい流路が完成し、以降、近隣の村々は水害から解放されるようになりました。地元住民は官吏の尽力に感謝するとともに、地元に一勞永逸(※)の功績を残し、子孫に幸福をもたらすことができました。

後世の子孫たちは先祖の志を理解し、それを決して失わせてはいけません。

※一勞永逸 一度苦勞すれば、その後長くその恩恵を被り、安楽な生活を送ることができること



「千曲川治水記」石碑

引き続き、工事用道路の整備を進めております。工事用道路坂路の造成のため、4月19日(金)より耕作者の皆様のご通行を迂回路に切替えさせていただきます。現地に設置してあります案内看板をご確認下さい。

- ・迂回路は工事関係車両も通行します。
・農耕車優先で安全運転を励行します。



凡例
現在通行帯 (Yellow line)
4月19日以降の通行迂回路 (碎石道路) (Red line)

埋蔵文化財保護調整会議の実施

4月10日(水)に、今年度初回となる「上今井遊水地整備事業に伴う埋蔵文化財保護調整会議」を実施し、発掘調査範囲の確認など関係機関同士で調整を図りました。なお、今後も発掘調査が円滑に進むよう、定期的な開催を予定しています。

また今後、地元の皆様向けに、長野県埋蔵文化財センターから「南大原発掘だより」を定期的に発行する予定です。発掘調査の実施状況等をお知らせする内容ですので、「遊水地だより」同様ご覧ください。

【参加団体】

- 長野県県民文化部文化振興課
○長野県埋蔵文化財センター
○中野市教育委員会事務局生涯学習課
○千曲川河川事務所

児童向けパンフレットができました。

この度、千曲川河川事務所において、児童向けの遊水地パンフレット「なるほど!!上今井遊水地」を作成しました。児童でも遊水地の仕組み等が分かりやすく学べる内容となっていますので、今後、広報等に広く活用していく予定です。

